

黒潮ブランド商品の認定は

2品目10商品を認証



議員 徳昭 的のり あき 徳昭 議員
かめ ざわ 亀沢

審査会を10月24日、25日に開催した。委員は、(有)良品工房社長白田典子（東京都）、高知県食品外販協同組合営業部長湯川多恵子（大阪府）、高知割烹学校校長高橋本、(株)サンマーマーケット商品企画部担当岡林真央の4氏に審査をお願いした。その結果、天日塩6商品、魚醬4商品の2品目10商品が今回認証された。

問 9月議会で黒潮ブランド商品認定について質問をした時には、10月に第一回の認定委員会を4名の委員で開催するとの答弁だった。その後の経緯について伺う。

答 森下 産業推進室長

黒潮町には黒砂糖、天日塩等の基本調味料である「さしすせそ」が揃っていることから購買者の信頼を高め、地域産業活性化を目指す黒潮町ブランド、さしすせそ商品認証制度を設け、第一回目の認証

位での有効な対策を講じることは不可能であると認識している。

震災対策

避難タワー設置は

5地区に
5基を設置

問 避難タワーの設置状況についてと、構造、設置後の管理及び避難通路のスロープ化や、避難ステージの円形化について伺う。

答 松本 情報防災課長

町内全域で実施したワークシヨップ7地区10件の要望があり意見交換の結果、万行、町、浜の宮、早咲、横浜の5地区に5基の設置を実施する。構造については、県の津波タワー設計手引書に準じて設計を行う。避難通路のスロープ化については、建物の設計上困難であると考ええる。円形については、県の手引書の中に制約はないが、津波の波圧に対して最も強い設計を考え

ている。また管理については、各地域の自主防災組織と協議していく。

問 県は高知新港に人工の高台設置計画を発表したが、町にはその可能性があるか。

答 松本 情報防災課長

県は、高知新港内に仮設の盛り土55万㎡を活用して高台

を整備し、最大クラスの津波から命を守る対策を計画している。

黒潮町での人工高台については、入野松原周辺を中心に専門家に意見を聞いているところである。

入野松原周辺への高台造成は、住民及び利用者にとって有効であり、実現の可能性について、安全性を含めて情報収集に努める。



今回認証された商品